

宇宙の数え方

t0457518788

宇宙の数え方(第〇〇宇宙の〇〇のの部分の読み方)講座

1、数字を2桁つづグループに分ける 最後の一桁だけ余ったら最後は1桁

例 2525365236255222256の場合 25 25 36 52 36 52 25
52 22 25 6 となる 逆に 21 36 54 33 だと
21365433となる

2、1グループごとに読む

読み方 1グループ2字 最初の一文字は 5 1 未満 51以上かど
ちらなのかがわかる 51未満の場合 最初の一文字目は あいう
えお かきくけこ さしすせそ たちつてつ なにぬねの になる
5 1 以上は残りの文字である すなわち はひふへほ まみむめも
やいゆえよ らりるれろ わるゑをん とする

なお ピンポン パンポンパン は使ってはいけない(例外除く)
代わりに

それぞれ (ペンポン カン)を使うそしてピンポン パンポンパン
と合体させるようなことがあったら はい はい といい手を叩い
てから言う つまりこの2つでは訳が違う ぽんの場合前後に手を
叩くか叩かないかで通常 例外を決める その他例外も手を叩か
ないと通常になりかねないので例外の時はしっかりと手を叩く
一文字の場合も1グループとし 最後を伸ばしパンポンパンーと
いい手を2回たたきポンと大きな声でいいさらに2回叩く 数字に訳
すときは最後の一桁が あ か さ た な は ま ら行から一
文字とやゆよ わをんからできるだけ1個しか選べないようにする

ちなみに あ行が1 か行2 さ行3 た行4 な行5 は行 6
ま行7

やゆよ8 ラリルれろ9 わをん 0と訳す でこの場合重なるリス
クがあるのでいいのが複数ある場合 第○という 第○といったあ
と手を2回叩く

あと第○次元の場合は 第○次元といったあと手を4回叩く

注意 (第○又は第○次元)+ポン(通常)の場合 (第○又は第○
次元)とぽんの あいだにはいと伸ばしいう

はい と伸ばしていわないと1けたと誤解されるので注意

第○の順番は複数ある中でいいなと思った順に並べる

重なったときいいほうを親宇宙としいい順に第1子宇宙 第2子宇宙

第3子宇宙 第4子宇宙 . . . と続ける

なおこれは例外以外でも使える手を2叩くだけだと第○ ぱんぽん
ぱんといいい手をたたきポンといいい続けて手を叩くと一文字の例外も
みなされるので使い分ける間違えると大変

あと3回手を叩くと第○ではなく第○次元となるので注意

ここでの見分け方は次元と言ってるかと手を叩く回数である

つまりこれら2つのちがいは 2回叩くだけで終わるか

ぱんぽんぱんといいい手をたたきポンといいい続けて手を叩くかであ
る

何度も言うが ぱんぽんぱんと第○は手を叩いても訳しが違う

なので通常で(1桁を表す以外で) ぱんぽんぱんとは使うな

数字で表示する場合は第○の部分を ○-1とかで表す

※文字が重複する い え (ゐ ゑ) 当たるが数字が45 46

47 48 49 50 95 96 97 98 99 そのまま数字を読んで〇〇じゅうのじゅう部分と語尾を伸ばしてピンポンー伸ばし最後に手を2回叩く ビータミュージック 実験感らを参照

つまり 重複例外と1桁例外の違いは ピンぽんと パンポンパンの違い

と 手を叩く 手を叩く と 手を叩く 手を叩く ポン 手を叩く 手を叩く である ポンといい手を叩くのが鍵
一つ ごとに間を開ける

注意 例外を使うと 例外と認識さるのでこの組み合わせはこの例外以外いつかうな

はい はいろいろな例外につかうので前後に注意する

グループ2文字目は 1からまたは51から その該当する数字までの差し引きを出し あいうえおから順に数え その数字(番目)を読む

例 かと の場合 一文字目は か なので1から50 かはあから数えて6番目なので 06となる

濁点 は気にしなくて良い 小さな文字は 一文字とする かつ の場合 かつ で1グループ しかし読むときはそのまま

詳しい発音方法はビータ参照

注意 書く場合※の例外と はそのまま書き

その他 じゅうに関してはボーダーラインを引く

伸ばし ピンポンーと言ったら 例外`になる

なので発音に注意

ゼロが続く場合 0 手を叩く0 手を叩く 0手を叩くをおわるまで繰り返す

注意 最後に着く宇宙はグループに入れずそのまま 宇宙と読む

最初と最後に6回手を叩き最後におわりといい手を2回叩く 第〇

子宇宙の場合も同じ

なお例外と最後(これ)のなどでが手を叩くのが続く場合は一つ終わったらい はい としっかり言う

つまり 手を叩く はい 手を叩くと 手を叩く はい ポン 違う

なので手を叩くかぽんというかをよく聞き分ける

手を叩く×6 宇宙 手を叩く×6 +終わり+手を叩く×2の場合 訳

詞は宇宙(第〇子宇宙)になるので注意

つまりこの違い 手を叩く回数である

誤解を防ぐためにも例外以外すなわち通常は

宇宙と終わりを極力つなげる

例 ○○○○ 宇宙終わり □□□

そのほかの違いもししっかりと聞き分ける

しっかりと聞かないのが間違いの原因

手を叩く 宇宙(第〇子宇宙) 手を叩く

注意 手を叩く時はゆっくり 何回たたていても回数がしっかりとわかる速度でいう

2回か3回か 1回か二回か 3回か5回かしっかりと区別できるように

に叩く

わかりにくい違いは 言う時は違いをはっきりいい しっかりゆっ
くり手を叩き 聞くときは違いをしっかりと間違えないように聞き取
る

すべて守らないとout

宇宙の大きさは2970桁で1光年が9兆5千億キロで1つが137億光年
137億光年×2970桁

お詫びコメント

計算間違いでした

修正しときました

以上

平成25年11月16日